かわまちづくりの活動はワークショップだけではありません



旭川・川反探検隊



これまでに、旭川の水源や沿川の利用状況、旭川と地域の歴史を訪ね歩く水辺の探検を、２回行っています。

地域の魅力を再発見。
三角沼や雄物川沿川のちょっと良いところを探して、青空ワークショップも行いました。





雄物川河口部グランドワーク





雄物川一斉クリーンアップ大作戦



４月に行われた雄物川一斉クリーンアップ大作戦にも、かわまちメンバーは参加しています。今回のワークショップで、NPO 法人秋田パドラーズの舩山理事長から、クリーンアップの報告もありました。

雄物川フェア

雄物川のゴミ状況や活動の展示を行いました。











川反秋の夜祭り

１０月３日、４日に開催された「川反秋の夜祭り」では、活動のパネル展示と旭川でのカヌー試乗体験が行われました。カヌーのナイトクルーズもありましたよ。



雄物川ロケハン

雄物川の屋形船『秋田悠久ライン』に乗って、水の上から現地視察

秋田地区かわまちづくり懇談会

９月８日(月)には、合同ワークショップの開催に先立って、昨年から引き続いて４回目となる懇談会が開催されました。

今回の会議では、個別の活動から、協働・連携して、より効果を高めていくことが、これからの「秋田かわまち」には必要だと、その中で、懇談会はどういうアウトカムを出していくのか、真剣な議論が交わされました。



あなたも秋田のかわまちづくりに参加してみませんか？

●申し込み方法等

方　法　：申込欄に必要事項を記入し、郵送・電話・FAX、もしくはインターネットホームページ、E-Mail にてお申し込みください。

●申し込み先

秋田地区かわまちづくり懇談会事務局

〒010-0951　秋田市山王一丁目 10-29
TEL：018－864－2288　　FAX：018－864－5204
e-Mail：　kawa-akita@thr.mlit.go.jp

●窓口（問い合わせ先）

国土交通省 秋田河川国道事務所　調査第一課
※住所や電話番号等は、申込先と同じです

●申し込み欄

※個人情報は、秋田地区かわまちづくりワークショップ以外には使用いたしません

（ふりがな）お名前	ご所属の団体、会社など
ご住所 電話番号（　　）　－	
参加を希望されるワークショップの番号を、１つ○で囲んでください。 1. 雄物川　2. 新屋左岸・表町　3. 新屋右岸・三角沼　4. 旭川・川反	

※インターネットホームページ、E－Ｍａｉｌからの申し込みも可能です。インターネットホームページからお申し込みの場合は、下記のアドレスまで
秋田地区かわまちづくりホームページ：http://www.thr.mlit.go.jp/akita/kasen/kawamachi/kawamachi.html

秋田地区 かわまちづくり

合同ワークショップ、開催！

９月２５日（木曜日）、第４回目となるワークショップは３地区合同により、秋田市文化会館において午後６時から９時まで開催しました。



３地区合同　参加75名



あいにくの雨模様の中、75 名の参加者が集まった合同開催は３つのワークショップが一堂に会し行われました。

具体な実行プランを絞り込んだ雄物川ワークショップ。これまでのアイデアを形にした図面やサンプルマップを使って意識の共有と詳細な検討を行った新屋右岸・三角沼ワークショップ。「川反秋の夜祭り」との連携協力や『民間主体』、『活動の広がり』と自主性の強い意見の飛び交った旭川・川反ワークショップ。それぞれ異なるアプローチで進んでいる各ワークショップが今回、社会実験やイベント開催の具体化に向け話し合いました。



秋田地区かわまちづくりワークショップの総合調整役を務める熊谷嘉隆先生（国際教養大学）からは、「ワークショップには３つの目的があった。活用方策の検討（ソフト）、環境整備の検討（ハード）は、ここまでの活動を拝見してかなり煮詰まってきていると感じた。これからは、それぞれの地区で立ち上げたプロジェクトを担っていく人達を育てていくことが、活動のキーになっていくと思う」というワークショップの感想が語られました。



熊谷（くまがい）総合調整役

雄物川ワークショップ

15名の参加となった雄物川ワークショップでは、前回から継続して「リバーサイドOKチーム（川辺検討グループ）」と「楽水楽座チーム（水上検討グループ）」の2つに分かれて議論が交わされました。






リバーサイドOKチーム

『クリーンアップ拠点』の実現に向けて

リバーサイドOKチームでは、拠点整備の実現に向けた具体的なアイデアを出し合いました。「クリーンアップにつながる仕掛けを考えたい」と、拠点利用とクリーンアップ活動の「環境オフセット」提案や既存施設の活用、仕組みづくり・ソフト対策など、『クリーンアップ拠点』実現に向けてプランの検討が行われました。

3つのテーマ『中州の活用』、『屋形船の活用』、『川の上のステージ』

楽水楽座チームでは、7月25日に開催された屋形船を利用した雄物川ロケハンの感想を踏まえて、これまでのアイデアを見直し、ポイントを3つに絞り込みました。そして、具体的なプランへ結び付けていくため、「何を」、「いつ」、「どこで」、「誰が」、「課題」の5つの観点でテーマの掘り下げを行いました。


楽水楽座チーム

新屋右岸・三角沼ワークショップ

2名の専門オブザーバーを加えて、32名で開催された新屋右岸・三角沼ワークショップでは、「三角沼整備検討グループ」、「河口右岸域マップ検討グループ」に、グランドワークで意見の挙がった「フットパス整備検討グループ」を加えた3つのグループで検討を行いました。

三角沼整備検討グループでは、第3回までで出された意見を図面にした素案を持ち寄って、基本構想を参加メンバーで確認・共有し、アクセス路やカヌー舟着場の利用形態など個別の整備内容や管理上の疑問点や要望の実現性について意見交換が行われました。




三角沼整備検討グループ

基本構想は合意、具体的な整備内容と管理の話し合いへ

フットパス整備検討グループでは、グランドワーク結果を踏まえて、「最低限必要な施設」や問題点について意見交換が行われました。「あさんぽ」コース、「ゆさんぽ」コース、「ワンさんぽ」コースなど、いろんなルートを繋げて名称をつけてはどうかというユニークな提案もありました。

河口右岸域マップ検討グループでは、各自が持ち寄ったサンプルマップを検討材料に、マップのスタイルやマップの対象、範囲、情報、ネーミングについて意見を交換し、マップづくりコンセプトの具体化を図りました。そして、マップのコンセプトは「シンプル」に、そして地元の人や散策利用の人を対象にとの認識が共有されました。また、三角沼の売りは『夕日』であると、“三角沼×散策×サンセット”の『SUN³マップ』というマップのネーミング提案もありました。


フットパス整備検討グループ

地元の散策利用者の声が大事、難題はフットパス整備後の管理

シンプルなもの、地域の人が徒歩で活用できるもの

河口右岸域マップ検討グループ

旭川・川反ワークショップ

25名の参加となった旭川・川反ワークショップでは、前回に引き続き、歩行者空間検討グループ、水辺の遊歩道検討グループ、旭川・川反探検隊検討グループの3グループで検討を行いました。




歩行者空間検討グループ

「行ってみよう」の提案、「やってみよう」の提案

歩行者空間検討グループでは、10月3日と4日に開催される「川反秋の夜祭り」との連携や具体的な提案の意見が挙げられました。まずは「行ってみよう」とかわまちメンバーに参加を呼び掛けるとともに、心に残るイベントとするための「やってみよう」の提案や改善点や助言を検討継続していきます。

水辺の遊歩道検討グループでは、ウッドデッキの『整備像』『利用像』について検討を行い、実現に向けての『問題点』を検討しました。『整備像』『利用像』については、主に理想の形の姿が語られ、『問題点』では、ウッドデッキ実現のための事業主体（実行委員会）が明確になっていないことが挙げられ、『民間主体』で行いたいという意見が出されました。


水辺の遊歩道検討グループ

『つくるに至る経緯』、『つくった後の利用形態』を勉強しよう


旭川・川反探検隊検討グループ

空間や属性、活動の広がりを

旭川・川反探検隊検討グループでは、2回の探検隊実施を踏まえ、引き続き、歴史や川の魅力の再発見をやっていきたいという意見が出されました。また、「探検地域を旧市街まで広げよう」、「小中学生が参加出来る企画を」と、空間や属性の活動を広げていく話し合いが行われました。